

不燃物最終処分場の残余容量調査結果について

不燃物最終処分場は、平成 1 6 年 1 2 月に竣工した施設であるが、現在の埋め立て容量から今後の処分期間の見通しを把握するため、残余容量調査を実施している。令和 6 年 3 月 7 日に調査を実施したので、この調査結果に基づき残余年数を試算した。

1. 埋立率

	全 体 (A)	築堤等容量 (B)	純埋立容量 (A) - (B)
①計画埋立容量(m ³)	52,500	7,663	44,837
②既埋立容量(m ³)	27,216	2,950	24,266
残余容量(m ³)	25,284	4,713	20,571
埋立率(%) ②/①	—	—	54.12%

2. 残余年数の試算

ケ ー ス	満杯年度	残余年数
現行継続の場合 (R 4 年度から産廃総量規制中※)	R 21	16 年間

※産廃の持込量の制限を実施している。H 2 8 年度から R 2 年度のうちに 1 t 以上の持込実績がある事業者に対し、実績の平均量に対し 70%から 40%の持込量に規制しているもの。